

ダニ媒介脳炎ワクチンの予防接種を受けられる方へ

ワクチン接種の適応

ダニ媒介脳炎はヨーロッパからアジアまでの温帯地域で標高 1,500m までの地域の、ダニが生息する森林や山間部で流行しています。

4~28 日間の症状のない期間があった後、頭痛、筋肉痛、倦怠感や発熱が起こります。そのまま治る場合もありますが、悪化すると脳に障害が出るようになり、呼吸ができなくなることがあります。重症型の場合には死亡することがあります。

流行地に長期間渡航される方は接種をお勧めします。

ワクチンについて

使用ワクチン：FSME-Immun（Pfizer 製）

3 回接種（初回から 4~12 週後(最短 2 週間)に 2 回目、その 5~12 か月後に 3 回目）。

3 回接種後の効果は約 100%です。接種から 3-5 年たつと効果が減弱します。標準的な 3 回投与を行い（上述）、3 年後に追加接種、その後は年齢に応じて 5 年ごと（60 歳未満）、3 年ごと（60 歳以上）の追加接種を継続します。

筋肉注射 1 歳~15 歳 1 回 0.25ml 16 歳~成人 1 回 0.5ml

国内で承認されているダニ媒介脳炎ワクチンはないため、輸入ワクチンを使用します。

ワクチンの安全性と副作用

発熱、接種部位の発赤、腫脹や痛み、倦怠感。ワクチンを接種してはいけないのは、過去にダニ媒介脳炎ワクチンで重度の局所反応や全身性反応を起こした場合と発熱している患者です。ネオマイシン、ゲンタマイシンにアレルギーのある方の接種には注意が必要です。

注意事項

輸入ワクチンのため、副反応が生じた時は国の救済措置、補償が適応されませんが輸入商社が提供する輸入ワクチン補償制度を利用できます。制度の利用には、裁判で輸入ワクチン接種による被害であることが認められる必要があります。輸入ワクチン補償制度以外は当院では補償できません。